「もしも」のとき

落ち着いて
正しく伝えましょう！

緊急時には１分の違いが状況を左右します。
落ち着いて正確に状況を伝えることが大切です。
もしものときの他の人への伝え方を確認しておきましょう。

- 確認1 いつ
- 確認2 どこで
- 確認3 だれが
- 確認4 どうした
- 確認5 今どうなっている

経過の記録も行いましょう。

令和6年3月発行
【編集・発行】
独立行政法人日本スポーツ振興センター
災害共済給付事業部
TEL：03-5410-9154
URL：https://www.jpnsport.go.jp/anzen/

※本ハンドブックを学校・園等の様々な活動で使用することを目的とする場合に限っては、コピー、送信、配布等のあらゆる非営利目的の利用が可能です。その他の目的による複製、転載、引用等については、必ず上記サイトをご確認ください。

学校教育OK
利用の際は必ず下記サイトを確認下さい。
www.bunka.go.jp/jiyuriyo

保育事故対応 ハンドブック
（フローチャート編）

フローチャートですぐ役立つ！



0歳 …… 1歳 …… 未就学児

乳児 | 幼児

- 心停止 …… 2ページ
- 誤嚥・窒息 …… 4ページ
- アナフィラキシー …… 6ページ
- 熱中症 …… 8ページ
- 頭部外傷 …… 10ページ
- 歯・口の外傷 …… 12ページ
- 眼の外傷 …… 14ページ
- 手指の外傷 …… 16ページ
- 緊急時対応計画MAP …… 18ページ

当ハンドブックの解説編となる『保育事故防止ハンドブック』とセットでご活用ください。



A5判

【園・施設名】

【 名 前 】

JAPAN SPORT COUNCIL